

青谷町地域振興未来プラン（案）の策定について

鳥取市新市域振興ビジョン（以下、振興ビジョン）は、平成26年8月に、新市域の10年先を見据えた地域の特性を活かしたまちづくりの方向性を示すものとして策定し、計画期間は令和5年度末で計画期間満了とありました。

今後引き続き、青谷地域の特色ある地域づくり、課題解決に向けて必要な施策について、鳥取市中山間地域対策強化方針（以下、強化方針）に織り込むとともに、青谷地域の新たな夢のある地域プランを次のとおり策定します。

1. 作成の基本的な考え方

地域未来プランに掲げる「めざす将来像」や「現状と課題」は、青谷地域の将来を見据えて今後、取り組む方向性を示すものであり、具体的な事業内容については、実施計画を作成して進捗管理を行います。

地域未来プランの策定に当たっては、令和3年に改訂された振興ビジョン、および同年に改訂された第2期青谷町版総合戦略を基本にしつつ、中山間地域強化方針や地域振興会議の意見を踏まえ作成します。

2. 地域未来プランおよび実施計画の構成（案）

●地域未来プラン（案）

- 1 策定の趣旨
- 2 計画の期間
- 3 地域の現況（位置・地勢・土地利用・人口）
- 4 地域の特性・資源（歴史、特性、資源）
- 5 めざす将来像：「いつまでも暮らしたい、住んでみたい、歴史に彩られた
活気とにぎわいのあるれるまち 青谷町」
- 6 地域の現状と課題（施策の展開）：
※今後地域振興会議の結果等により策定

●実施計画（案）

実施項目、事業内容、予算額、決算額、目標達成度など

3 スケジュール

令和7年3月末の完成に向けて、第3回会議以降より事務局が作成した素案を基に意見交換を行い作成に取り組みます。

- ・第3回＜7月＞ 地域課題の提案
- ・第4回＜8月＞ 地域課題の集約、施策方針（柱など）の決定
- ・第5回＜10月＞ 未来プラン素案 策定
- ・第6回＜11月＞ 実施計画案 策定

<課題の抽出（総合支所からの観点）>

- ・ まちづくり協議会のあり方検討（地区活動の見直し）
- ・ 青谷かみじち史跡公園への地域住民の参画
- ・ 地域資源（鳴り砂、不動滝、ジオパーク等）を守り育てる活動の推進
- ・ 伝統文化の保護継承（民話、ようこそ音頭）
- ・ 生活交通の安定運営（共助交通の推進）
- ・ 観光誘客の受皿体制（民泊・キャンプ場などの宿泊環境、ガイド、インバウンド）
- ・ 観光PR（様々な情報発信、新商品等開発）
- ・ 伝統産業（因州和紙）の活性化
- ・ 駅前周辺の賑わい創出（青谷駅、にぎわい広場、鳥取森田など）
- ・ 地場製品のブランド化（海女、定置網、びわ、しいたけ、いちご、けん玉）
- ・ 地場製品の販路拡大（ようこそ館、伝承館、気楽里）
- ・ 青谷高校の活性化（魅力創造、受皿強化）
- ・ 地域体育活動（卓球ほか）の支援
- ・ 人口減少対策（移住定住、就職対策、空き家・土地活用、関係人口）
- ・ 防災の強化（自助共助の推進、防災備蓄、啓発）
- ・ 健康の推進（健康食、ウォーキングイベント・マップ）
- ・ 地域の特色ある教育の支援（青谷上寺地遺跡、定置網、サーフィン）
- ・ 地元企業との協働による活性化